

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 03 07	中期総合計画主要施策番号	3-02	担当課	部・課	健康福祉部医療推進課
事業名	災害医療体制整備事業			内線	2618	
				E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H20 ~	根拠法令等	第5次長野県保健医療計画			
実施方法	県が直接実施					国庫・県単 国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	災害時の医療連携体制について検討するとともに、災害拠点病院の連携体制や、長野県DMAT（災害派遣医療チーム）の運用体制を整備することにより、災害時の医療連携体制を確保する。				
	対象	災害医療関係機関（医療機関、消防機関等）、県民				
	目指すべき姿	・災害時の医療連携体制を整備する。 ・災害拠点病院連絡協議会を活性化させ、連携体制を強化する。 ・長野県DMATを養成する研修を実施し、運用体制を整備する。				
	事業内容	・県災害・救急医療体制検討協議会及び分科会の開催 ・長野県DMAT養成研修の実施				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・報償費(委員謝金):308千円 ・旅費(委員費用弁償):121千円 ・委託料(県災害医療研修会委託料):263千円(委託先・長野赤十字病院)
	最終予算額 (A)		千円	3,063	2,679	13,295	
	決算額 (B)		千円	1,293	757		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	1,293	723	4,513	
	概算人件費	従事する職員数	人	0.30	0.30	0.30	
	概算人件費 (C)		千円	2,495	2,477	2,477	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	3,788	3,234	15,772	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効果指標 算出式) 県災害医療研修会委託料/県災害医療研修会受講者数
	県災害・救急医療体制検討協議会の開催(活)	回	1	1	1	
	分科会の開催(活)	回	3	3	2	
	県DMAT養成研修の受講者(成)	人	25	-	30	
	県災害医療研修会受講者数(成)	人	-	303	300	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 県災害医療研修会受講者数1人当たり経	千円/人	11	0.87	0.81	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価				評価区分 b 期待どおり
	・県災害・救急医療体制検討協議会及び分科会を開催する。 ・長野県DMAT養成研修を実施する。		・東日本大震災の経験を踏まえ、国において災害医療対策の見直しが平成24年3月まで行われていたため、事業を一部変更した。 ・県DMAT養成研修については、平成23年度は、東日本大震災の経験をふまえ、災害医療について、より多くの医療従事者への周知を目的とした「長野県災害医療研修会」に変更し、多くの参加者を得て開催することができた。 ・県災害・救急医療体制検討協議会(1回)及びDMAT分科会(2回)を開催した。なお、災害拠点病院連絡協議会は、国の方針が平成24年3月下旬であったことから開催しなかった。 ・平成24年度の新規事業予算化、拡充強化に取り組んだ。 以上から、「期待どおり」であった。				

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・東日本大震災を機に、各方面から災害医療体制の整備強化の必要性が指摘されている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・「災害時における医療体制の充実強化について」(厚生労働省医政局長通知)の内容に沿った体制整備に取り組む必要がある。 ・H24予算増の理由:災害医療研修会の開催、DMATの情報通信手段の整備、広域医療搬送拠点の必要物品の整備				
	特記事項					